

市内の小・中学校で英語を教えているA.L.T. (外国語指導助手)の皆さんが、久慈で生活して感じたことなどを紹介するコーナーです。

My life in Kuji



キーラ・カーツ さん
 インディアナ州・23歳 / 久慈小、侍浜小、久喜小、小袖小、大川目小、侍浜中、三崎中を担当

初めて陶芸に挑戦!!

岩手県立博物館に「コレクター福富太郎の眼」という展示を観るために行ってきました。この展示は全て、収集家に焦点を当てた形で展示され、興味深い作品がありましたので、その一部を紹介します。

一つ目は、ポスターにもなった北野恒富の「道行」。実際に見ることができて、うれしかった作品です。私には、カラスが恋人たちの生まれ変わりのような、あるいは恋人たちがもうすぐ死が訪れることを知っていて、それを静かに待っているように見えました。

二つ目は、満谷国四郎の「軍人の妻」。妻の表情がとても写実的で、彼女の感情が絵の中からあふれ出てくるようにも感じました。

最後は、モーティマー・メンペスの「三味線を弾く女」。私はこのアーティストの作風が好きです。この絵は、フラッシュをたいて撮った、粒子の粗いざらざらとした古い写真を思い出させます。帰り際に、全てのコレクションが載っている本も買いましたが、とても素晴らしいものでした。

市民

センターだより



宇部市民センター
 ☎56-2111

宇部市民センター事業紹介

宇部町民マレットゴルフ大会

宇部町マレットゴルフ場は、地元マレットゴルフ協会と施設を利用する町民有志が心を込めて管理している施設です。

10月9日に第22回宇部町民マレットゴルフ大会が、開催され、26人が参加しました。競技は個人戦と団体戦。個人戦、団体戦の両方で順位と景品を競い合うという1ゲームで2回分楽しむ方法で実施しました。カップインするのにほんの数ミリ単位でホールインワン賞を逃す人が続出。

個人申込み者が抽選を行って決定した団体のチーム編成では、兄弟妹3人が偶然一緒のチームとなる驚きの展開になるなど、参加者に笑顔を提供してくれる楽しい大会になりました。

12月4日には町民ピンポン大会、1月29日には町民ユニカール大会などを予定しています。宇部市民センターでは、地元宇部体育協会と協力しながら、スポーツを通して健康で充実した生活を送れるよう努めていきます。

地域で力を合わせて元気に活動!

10月から集落支援員に着任した日向淳です。今回は地域の人たちで知恵を出し合い、地域のお宝で地域を元気にする活動を紹介します。

山根地区の山根未来づくり会なりわい委員会は、地域ならではの商品開発や、その販売をとおして、地域の活性化や魅力のPRに取り組んでいます。商品開発した品を、全国の皆さんにも知ってもらいたいとの思いから、久慈市ふるさと納税への出品準備を進めています。出品商品は、地域ならではの山白玉大豆や天然オニグルミを活かした軍配餅、きな粉、きなこくるみ、山根のクッキーです。主にべっぴんカフェ月の市や、べっぴんの湯で販売していますが、市観光物産協会からふるさと納税へ出品するためにアドバイスを受け、12月に「久慈市ふるさと納税」サイトに掲載となるよう準備中です。皆さま、是非知人にご紹介下さい!

集落支援コーディネーター つうしん

日向 淳 さん
 (ひむかい あつし・53歳)
 2022年着任。小久慈町出身。山根地区、長内地区、夏井地区、宇部地区で活動中。



地域ならではの食材を使った商品

●集落支援コーディネーター…ふるさと未来づくり事業を通じ、住民が地域の現状と問題を自らの課題として捉えることや課題解決に向けた地域の取組みを支援。幅広い住民の声を市に届けることで、市の地域活性化策を推進し、住民と行政の協働のもと集落の維持や活性化を図っています。



Name
下屋敷 亘 さん
 しもやしき・わたる (新井田町・42歳)

世界大会の記録		
スクワット	172.5kg (170.0kg +2.5kg)	
ベンチプレス	105.0kg (105.0kg ± 0kg)	
デッドリフト	215.0kg (215.0kg ± 0kg)	
トータル	492.5kg (490.0kg +2.5kg)	

※ ()内は第27回ジャパンクラシックマスターズパワーリフティング選手権大会優勝時の記録および対比



メダルと賞状



競技中

きらり人輝く

世界の舞台で限界に挑戦
 自らの手で勝ち取った世界大会総合第2位

経験を力に変えて

カナダで開催された、2022世界マスターズパワーリフティング選手権大会40歳～49歳・男子59kg級に出場。総合部門で第2位に輝いた下屋敷さんに、現在の思いなどを聞きました。

■世界大会初出場

初めての海外が、世界大会。一緒に出発した出場メンバーはほぼ初対面でしたが、同じ志をもつ同士、すぐに打ち解けることができました。短い期間で深く交流を持つことができたので、慣れない環境の中では本当に助かりました。

大会は、階級が違う人でお互いの試合をサポート。私も大会前は他の競技者の補助を行ったので、会場の雰囲気は事前に知ることができました。試合会場は、試技の前に選手の紹介アナウンスが流れ、テレビで見るような目の前の光景に、世界大会のスケールの大きさを感じました。

■大会当日

前日は緊張やプレッシャーで一睡もできませんでした。コンディションは最悪だったので、不安を抱えたまま競技に入りました。

通常、1回目の試技は確実に持

ち上げられる重量から始めます。世界大会では持ち上げることはできたのですが、思った以上に重さを感じたので正直焦りました。

逆転優勝も可能だった最後の試技は、残念ながら持ち上げることができず、悔いが残る大会になりました。とても落ち込みましたが、サポートしてくれた吉松武志さんから「勝って得るものより負けて得るものが大きいから。人間成長できるから」と声を掛けてもらい、前を向くことができました。本当に感謝しています。

■大会を終えて

たくさんの人に声を掛けてもらい力になりました。心から感謝しています。現在は、次の世界大会にも出場したいという気持ちが芽生え、トレーニングも開始しています。この競技を知ってもらい、競技人口が増えるように、これからも頑張ります!



試合会場で記念撮影



メンバーと会食